

みんなとともに笑顔いっぱい — 創立百周年 その先の未来へ みんなとともにスマイルミッション —



# みんなとともに



8月17日(土)「東日本都道府県小学生陸上競技交流大会 北海道函館大会」が、函館市千代台公園陸上競技場で開催されました。本校から3名の子どもが福島県代表として出場し、素晴らしい結果を“北の大地”に残してきました。本校の子どもたちの励みになるとともに、手本となる選手が身近にいることは、大きな強みになることと思います。今後がますます楽しみです。



## 函館大会観戦記 —「感動」のお裾分け—

### 【大会結果】

1位	80mハードル	6年	守谷 敦	12秒46
1位	走り高跳び	6年	尾形 望月	1m44
2位	走り幅跳び	6年	塚田 希紘	4m61

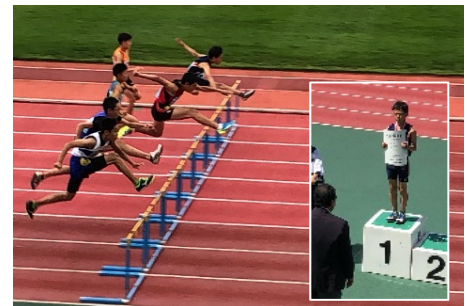


### 【観戦記】

前日夜に台風が通過し、当日は風があるものの、青空も見える絶好のお天気。福島県選手団の前方左側に清明小応援団が陣取る。ご家族とともに、本校職員も4名応援に駆けつけた。そして、今回作成した清明小応援旗「魅せつけろ 清明魂」が、バックスタンド側に目立っている。

### 【80mハードル】 〈選手〉 守谷 敦

敦君は、予選は2組の3レーン。その前に、スタンディングスタートの選手についてスターターが協議するという不安な場面もあったが、古山先生の「競技規則で認められていますよ」というスタンドからのアピールの声が届き、すでに不安は解消されていたので支障なし。敦君は、堂々とスタンディングスタートでスタートし予選を1位で通過。そして、決勝。5レーンの敦君は隣のレーンの選手と前半競っていたが、後半伸びて見事1位。観衆の拍手を一身に受けたのだった。



### 【走り幅跳び】 〈選手〉 塚田 希紘

予定時刻よりも大幅に遅れての開始。希紘君の試技回目は1番目。3回の練習の後、1回目を跳ぶのが惜しくもファール。2回目も大きく距離を伸ばしているが、これまたファール。もう後がない状況。

残る3回目。応援する方は「せめて記録はついてほしい」というナーバスな心理状態だったが、希紘君の強心臓ぶりはここから発揮された。3回目は見事に踏み切りを合わせ、しかも4m61という実力どおりの結果を残したのであった。



### 【走り高跳び】 〈選手〉 尾形 望月

これもまた予定時刻に大幅に遅れての開始。しかも、低い高さから男女いっしょに行っているの、遅々として進まない。そんな中でも試技順1番目の望月君は、簡単に跳んでいく。

1m30を過ぎると、女子選手もかなり少なくなり、高さを上げるごとに男子選手も減っていく。そんな中で、望月君ともう一人の選手が、軽く1回目クリアしていく。

1m35ぐらいまでは、記録の表示があったのだが、その後表示がなされず、どの高さを跳んでいるのか分からない。スタンドから「記録を見せてください」の古山先生の声で記録が表示されたときには、1m44になっていた。

この高さを望月君はクリア、もう一人の選手は3回とも失敗し、1位が決まった。バーの高さを1cm上げ 1m45に挑戦したが、記録は1m44となった。

